

2020年度 全日本学生室内テニス選手権大会

大会案内

1. 大会開催中止判断について

大会開催中止判断は **2月3日(水) 15:00** に公式 HP 上で発表予定
都市圏・開催地域における緊急事態宣言の有無や国内における感染拡大状況を総合的に判断し、全日本学生テニス連盟が判断する
しかし、開催と判断した後も、政府・大阪府等の関係団体から中止要請が出た場合には、2月3日以降に中止を判断する可能性もある

2. エントリー期間

1月31日(日) までを予定 開始日時に関しては、後日発表
出場意思のある選手は出場の有無に関わらず、必ずエントリーを行うこと
エントリー費の振り込みに関しては、後日期間を設け、出場が確定した選手のみ振り込むこととする

3. エントリーリスト掲載

2月3日(水) 公式 HP に掲載予定

4. ウィズドロー期間

2月4日(木)～2月11日(木)
※期日以内の欠場に関しては、エントリー費を徴収しない
ウィズドロー申請方法については、開催が決定次第、別途 HP 上に掲載する

5. エントリー費振り込み期間について

ウィズドロー期間終了後、出場が確定した選手に関しては、エントリー費を請求する期間、方法に関しては、選考が確定次第、該当者に適宜連絡する

6. 本戦 WC 選考会の開催について

2月12日(金) 10:00- 東日本 13:00- 西日本
本戦 WC 選手の選考を上記の日程にて行う

出場希望の選手に関しては、必ず大会へのエントリーを行うこと

7. 健康管理チェックフォームについて

2月4日(木)～3月11日(木)まで

全日本学生テニス選手権大会同様、今大会も大会2週間前から大会終了後14日間は健康管理チェックフォームへの回答を出場選手並びに選手関係者に義務付けるものとする。

大会関係者は必ず毎日記入を行うこと。あまりにも回答率が悪い場合には、会場への出場・入場を許可しない場合もあるので、注意すること

8. 出場予定選手への報告義務について

大会出場予定選手、並びに選手関係者には、身の回りの関係者から新型コロナウイルスへの感染が確認された場合には、全日本学生テニス連盟への報告を義務とする

万が一、虚偽の報告を行い、大会に出場していたことが発覚していた場合、全日本学生テニス連盟の理事会にて検討し、来年度の大会への出場停止処分を課す可能性もあるので、必要に応じて適切に大会本部まで報告を行うこと。

報告の義務期間について

出場予定選手がエントリーをした時点から、大会終了後2週間以内

報告が必要となる場合

参加する選手が所属する大学の全ての部員、並びに監督コーチ等のスタッフから新型コロナウイルスへの感染が確認された場合

選手・関係者本人が新型コロナウイルスへ感染した場合、並びに濃厚接触者に認定された場合

大会エントリー時点から大会終了後2週間の大会期間中、万が一身の回りに新型コロナウイルスの感染者が出た場合に備え、自身の行動記録(食事の場所や相手)や部活動内における行動記録(練習時間、相手等)を各自記入し、保管しておくこと

必要な場合には学連から提出を求めることもあるので、その際は提出に応じること

以上